

中区 区域まちづくり事業 効果検証シート

事業名称			実施主体			
SHSなか学コミュニティ事業			中区役所自治推進課			
事業目的	事業内容	活動指標	R4	R5	R6	
<p>中区政について、若い世代の視点で効果的な啓発方法や事業の検討を行うことにより、区民が住みよい地域社会の実現をめざすことを目的とする。</p>	<p>中区内の高等学校(精華高等学校、大阪府立東百舌鳥高等学校、大阪商業大学堺高等学校)の協力を得て、3校の生徒が一同に集まるミーティングを開催し、若者の視点を活かしながら中区の実施事業等の内容や課題について意見の抽出等を行う。</p>	ミーティング実施回数	未実施	1回	5回	
①妥当性	②協働の視点	③インパクト	④効率性			
<p>○ 防犯や交通安全をはじめとする中区の各種事業に対し、若者の多様な視点から意見を聴取し、区政に反映させることは、中区全体にとって有益である。こうした取組は、地域の将来を担う若者の参画を促し、地域社会の活性化にもつながることから、実施の意義と妥当性は高い。</p>	<p>○ 本事業は、高等学校の協力のもと、行政と若者が中区の実施事業や課題について意見を交わし、それを踏まえた取組を行うものである。地域課題に連携して取り組む点で、協働性の高い事業である。</p>	<p>○ 本事業は、若者の視点を区政に反映する先進的な取組であり、この機会を通じて地域社会への若者の関与や関心を高めている。今後、取組を継続・発展させることで、SNSや学校内での発信が進み、地域の魅力や行政の取組の周知等のPR効果も期待できる。</p>	<p>○ 本事業は、中区内の高等学校に通う生徒の意見を集約し、政策に反映させる取組である。地域内に類似の事業が存在しない点に加え、対面でのミーティングを区役所の会議室で実施することで会場費等のコストを抑えていることから、効率性の高い事業であるといえる。</p>			
⑤自立発展性	総合評価					
<p>△ 本事業は、各校が生徒会を中心に自発的に取り組んでいるものの、多忙な学校生活の中でミーティングの日程調整や課題設定は容易ではない。このため、現時点では行政主導による実施が不可欠であり、主体的な運営体制の確立には至っておらず自立発展性は低い。</p>	<p>○ 対面でのミーティングを通じて、生徒の提案により中区のおすすめスポットを紹介するマップの作成や深井駅での特殊詐欺防止キャンペーンを実施した。また、それらの活動を各学校内に展開して啓発に取り組むなど、生徒が主体的に活動を行い、中区政への関心と関与を深めたことから、本事業は効果的と考えられる。さらに、これらの活動は地域の魅力や行政の取組を発信する契機となっており、今後のPR効果も期待できる。</p>					
今後の方向性(課題、改善提案等)						
<p>拡充 継続 見直し 廃止</p>	<p>対面でのミーティングを通じて、中区政に関する若者の意見や提案を聴取し、啓発活動などに積極的に取り組む機会を今後も提供する。ただし、通常授業や学校行事で多忙な中、3校間での日程調整が難しく、活動時間の確保が課題である。今後は、活動頻度や実施方法を検討しながら、継続的な実施を図る必要がある。</p>					